

「積丹美国鯉場「やん集小道づくり」推進協議会」

■ 事業者の概要

- 所在地 : 積丹郡積丹町
- 運営主体 : 一般社団法人 積丹やん集小道協議会
- 取組内容(分類): 地域資源を利用した観光
- 【ホームページ】、【Facebook】、【Instagram】: なし

■ 活動経緯・内容

- 積丹町が保有する鯉番屋が競売されると聞き、その保存の必要性を共有する有志が集まり保全活動が始まる。(平成19年「積丹町美国鯉場プロムナード研究会」)
- 組織的な活動を行うため、平成20年に積丹町美国鯉場「やん集小道づくり」推進協議会に改変し、町から施設の無償譲渡を受ける。(3年間の貸与)
ヤマシメ番屋をはじめ、他の番屋などのつなぐ「小道づくり」構想を計画
- 町より「貸与の延長は出来ない、法人であれば無償譲渡が出来る」とのことから法人格を取得する「一般社団法人積丹やん集小道協議会」を設立し番屋の譲渡を受ける。
- 専門家の講演や古老の昔話など勉強会や交流会を実施。平成30年には施設を改修しカフェをオープン。番屋と石蔵を利用した、ウニランタン作りなどの体験教室やライブコンサートを実施。

■ 取り組む際に生じた課題と対応方法

- 収益がなく、資金は賛助会員からの会費だけでは厳しいので、組織の立ち上げや、施設の改修に補助金・助成金を活用している。

■ 活動継続の秘訣

- 昔からある施設を残したいという熱い思いの人々がいたこと。
- 補助金、助成金、民間都市開発推進機構の活用。



◇旧ヤマシメ福井邸の屋根と一部床修復後の旧ヤマシメ福井邸お披露目イベント「やん集ニシン祭り」の正調ソーラン節保存会による正調ソーラン節披露

■活動の成果

- 長く活動を続けてきたことで、町議などから取組みが評価され活動に理解を得られるようになった。
- 積丹町の働きかけにより、「まちづくり基金」が設置され、施設整備の費用に支出されている。
- 農作物の販売など、地元農家と連携しての取組みが進み、地域住民の憩いの場としても活用されている。
- 練番屋等の歴史的建造物の保存・再生が図られ練文化の伝承活動の拠点となっている。

■今後の展望

- 収益があげられる施設をつくり、若い世代に継いでもらいたい。
- 通過型観光客が多い積丹町において、歴史的建造物による新たな観光資源と、既存の観光資源の連携によりさらなる魅力を発信することで滞在者を増やしたい。
 - ・本格的な散策ルートはあるが、ルート上にある施設を直せていなくて実施できていない。
 - ・渚泊が出来るようにしたい。(1棟貸し)

●まとめ

- 助成金などを活用し長期にわたり活動を行っている。
- 協議会の取組み姿勢が町議などに評価されて、役場の後方支援もあり継続できている。
- 今後は、協議会の安定的な運営と、通過型観光から滞在型観光に変わること、地域が潤う展開に期待したい。



◇お話をいただいた別所代表理事
(R2.2.7取材)

